

授業科目 身体障害作業療法学 III

【担当教員名】 今西 里佳	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】  
 内部障害、神経難病、終末期に対する作業療法を行うために、病態を理解した上で、評価技法、治療・指導方法を習得する

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 内部障害、神経難病、終末期の様々な疾患や障害の病態に関心を持ち、真摯かつ積極的な態度で学ぶことができる
  2. 内部障害、神経難病、終末期の各々の疾患や障害の臨床経過を述べることができる
  3. 内部障害に対する作業療法の目的・評価・治療技術について説明することができる
  4. 神経難病に対する作業療法の目的・評価・治療技術について説明することができる
  5. 終末期に対する作業療法の目的・評価・治療技術について説明することができる
  6. 内部障害、神経難病、終末期に対する作業療法の目標・治療内容について考えを述べるができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（1）	1～3,6	講義・演習
2	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（2）	1～3,6	講義・演習
3	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（3）	1～3,6	講義・演習
4	内部障害に対する作業療法 呼吸器機能障害（4）	1～3,6	講義・演習
5	内部障害に対する作業療法 循環機能障害	1～3,6	講義・演習
6	内部障害に対する作業療法 代謝障害	1～3,6	講義・演習
7	内部障害に対する作業療法 下部尿路機能障害（1）	1～3,6	講義・演習
8	内部障害に対する作業療法 下部尿路機能障害（2）	1～3,6	講義・演習
9	終末期に対する作業療法（1）	1,2,5,6	講義・演習
10	終末期に対する作業療法（2）	1,2,5,6	講義・演習
11	神経難病に対する作業療法 神経変性疾患（1）	1,2,4,6	講義・演習
12	神経難病に対する作業療法 神経変性疾患（2）	1,2,4,6	講義・演習
13	神経難病に対する作業療法 神経変性疾患（3）	1,2,4,6	講義・演習
14	神経難病に対する作業療法 神経・筋疾患（1）	1,2,4,6	講義・演習
15	神経難病に対する作業療法 神経・筋疾患（2）	1,2,4,6	講義・演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	作業療法学ゴールドマスターテキスト4 身体障害作業療法学	長崎重信監修	メジカルビュー社	2010・5,400円+税
参考書	福祉用具・住環境整備の作業療法	玉垣努編	中央法規	2013・3,800円+税
	I・ADL 第3版 作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博編	三輪書店	2012・5,400円+税
その他の資料	身体機能作業療法学第2版	岩崎テル子	医学書院	2011・4,700円+税
	配布資料			

【評価方法】 知識・技能の確認として小テストを実施する。また出席、レポート提出期日厳守や演習に意欲的に取り組む授業態度を重んじる。成績は、定期試験結果70%程度および出席日数や授業態度、レポート提出、小テスト等30%程度で総合的に判断する。	【履修上の留意点】
---	-----------